

助成団体名 阿蘇の灯

## 2019年度「水俣・熊本みらい基金」助成事業報告書

企画テーマ	灯物語 ～繋ぎ～
取り組み実施期間または日時	2019年10月～2019年11月 イベント当日は11月16日(土)

### 【取り組み目的】

東海大学農学部は、平成28年熊本地震により暮らしが一変しました。農学部の学生約800人が暮らしていた南阿蘇村黒川地区から学生は離れざるをえなくなり、村との繋がりが薄まりつつあります。「阿蘇の灯」は、東海大生の「南阿蘇村に帰りたい、大家さんとまた会いたい」という思いから2016年11月に発足致しました。「南阿蘇との繋がりを失いたくない!」そして、「阿蘇キャンパスで学んでいない、阿蘇に住んでいない学生にも阿蘇の良さを伝えていきたい」という思いから東海大生と大家さん、地域住民の方々との再会、交流イベントを定期的に開催しています。2019年を迎え、学生代表は、阿蘇での暮らし、地震を経験していない代入代替わりしました。しかし、これまでの繋がりを持ち続けていきたい、消えてはいけない人々の想いを形にしたいという目的で、2019年11月16日(地震から約3年半)灯物語～繋ぎ～を行いました。

### 【取り組み内容と成果】

南阿蘇村、熊本そして全国の方を対象にメッセージを集めます。阿蘇の灯のメンバーを含めた有志の学生、地域住民などで、集まったメッセージを用いた三角灯籠を制作、灯籠とともに設置し、自由参加型の「灯物語」を開催し、三角灯籠約800基が南阿蘇村黒川地区の「学生村」に灯り、796の方にご来場いただくことができました。「自分が書いたメッセージを見つけることができた!」「きれいな写真が撮れた」「このイベントをきっかけに地震以来会えなかった友人に会えた」といった様々な声をいただくことができました。また、大家さんや地域住民の方々のご協力のもと、炊き出しが行われ、寒空の下 見に来て下さった方々の身やばを温めました。熊本地震から3年と経ち、学生が以前暮らしていた黒川地区の学生村で灯物語を開催し、いろいろな何かを思い返す、人それぞれに何かを感じる機会になったのではないかと思います。

### 【備考欄】